

大学コンソーシアムひょうご神戸  
2022年度 第1回 国際交流委員会  
議事次第

日 時：2022年4月25日（月）15：00～16：00

場 所：オンライン Zoom

委員校：兵庫県立大学（委員長校）、神戸市外国語大学（副委員長校）、明石工業高等専門学校  
芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、  
聖和短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、  
神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、  
神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、  
園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部（計27校）

I. 報告事項

- 1) 2022年度国際交流委員会委員校について (資料1)  
各委員校の国際交流事業の状況、取り組み事例等の共有（自己紹介も兼ねて）
- 2) 事業委員会運営に関する申し合わせについて (資料2)

II. 協議事項

- 1) 2022年度国際交流委員会事業計画について (資料3)
  - ①学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学
  - ②模擬国連演習（NMUN） 神戸市外国語大学
  - ③兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 大学コンソーシアムひょうご神戸  
2022年度 国際交流委員会 事業予算
- 2) その他

III. 連絡・調整事項

- 1) 2022年度の国際交流委員会開催日程

第2回委員会	10月：2022年度	活動実績・自己評価(メール審議)
第3回委員会	12月：2022年度	自己評価(メール審議)
第4回委員会	2月：2023年度	事業計画・予算案(メール審議)
第5回委員会	3月：2022年度	事業報告・決算(メール審議)

以 上

	大学名	氏名
1	明石工業高等専門学校	藤原 誠之
2	芦屋大学	巖 綾菜
3	園田学園女子大学	井上 稔浩
4	関西学院大学	澤村 裕
5	関西福祉大学	安室 麻弥、金子 美里
6	芸術文化観光専門職大学	河合 温美
7	甲南大学	中川 真太郎
8	神戸学院大学	高山 修
9	神戸国際大学	北 邦弘
10	神戸市外国語大学	金子 百合子、辻井 泉子
11	神戸市看護大学	神原 咲子
12	神戸常盤大学	鈴木 高史
13	神戸親和女子大学	毛利 淳一
14	神戸大学	河合 成雄、四方 陽介
15	姫路獨協大学	石 暁軍
16	兵庫県立大学	末弘 美樹、別所 早織
17	兵庫大学	栗 涛

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
事業委員会運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第 38 条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 事業委員会の組織

- ・事業委員会は、正会員の教職員からなる委員により、構成する。
- ・事業委員会の委員は、正会員あたり原則 2 名(教員 1 名、職員 1 名)とし、毎年度、第1回委員会開催までにコンソ事務局に登録する。

3. 委員長校、副委員長校

- ・事業委員会は、委員長校、副委員長校を置く。但し、副委員長校は複数校置くことができる。
- ・委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議など、事業委員会の円滑な運営に努める。
- ・副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行し、事業委員会の円滑な運営に努める。
- ・委員長校、副委員長校の任期は、2 年とし、再任は妨げない。
- ・任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取の上、企画運営委員会で協議し、理事会で決定する。
- ・委員長校は、原則として理事校が担当する。但し、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができる。

4. 事業委員会の任務

- ・事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行う。
- ・事業委員会は、必要に応じ情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事

- ・事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- ・事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則 2 名の委員」に拘らず、計 3 名以上の者もしくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件(定足数)

- ・事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- ・委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- ・「委任状」の制度は用いない。

- ・事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

#### 7. 議決権及び議決数

- ・正会員あたり各 1 個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

#### 8. プログラム担当校

- ・事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- ・プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- ・委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

#### 9. 事業委員会事務局

- ・事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

#### 10. 改廃

- ・この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

#### 附記

- ・この申し合わせは、2019年4月1日から施行する。
- ・この申し合わせは、2022年4月1日から改正施行する。
- ・「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め1年とする。

以 上

国際交流委員会

委員長校 : 兵庫県立大学

副委員長校: 神戸市外国語大学

委員校: 明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、  
 関西学院大学、聖和短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、  
 神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和女子大学、  
 神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、園田学園女子短期大学部、  
 姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部 計27校

<目的>

「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する  
 コンソーシアムとしてグローバル人材育成を目指した事業を展開する。

<内容>

- 1、学生海外派遣プログラム
- 2、模擬国連演習(NMUN(National Model United Nations))
- 3、兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業

<期待される効果>

- 1、学生派遣プログラムにおいては、委員校が実施するプログラムを加盟校に開放し、  
 当該プログラムに興味を持つ複数の加盟校の学生がプログラムに参加して交流することで、  
 正課授業では得ることのできない経験とネットワークの構築が期待される。
- 2、模擬国連演習においては、大学が横断的に連携して実施することによる、地域内の学生間の  
 交流の促進と参加者の国際問題や国連システム等に対する理解の醸成が期待される。
- 3、兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業においては、学生が主体的に学ぶことによる  
 行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズの取組促進  
 高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。

実施プログラム名称		予算額
【取組2】	学生海外派遣プログラム	50,000円
【取組2】	模擬国連演習(NMUN(National Model United Nations))	0円
【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業	9,625,000円 * 受託事業収入

【2022年度 国際交流委員会 事業計画(取組2-1)】

【取組2】達成目標	プログラム数10件以上
【取組2】活動指標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定)

課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進
達成目標【取組2-1】	プログラム数10件以上
課題を解決する取組概要【取組2-1】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進
活動指標【取組2-1】	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定)

内容(計画)	<p>日本は、衛生面・医療面で世界的に恵まれているが、国外において自らが体験することで医療に対する国際感覚を高める。習慣・文化・社会が日本と大きく異なる国への訪問を通して自国の状況を客観的に判断可能になり、海外から学ぶべきこと、また、海外で貢献できる点を理解し、問題解決能力を養う。</p> <p>【実施内容】</p> <p>○医療検査コース(対象学科:臨床検査技師や栄養士など医療系学科)                  アメリカ(ボストン):病院、バイオテック企業、大学研究室などへの訪問。                  医療検査の知識を発展できる施設でのインタビューを通じた見学研修</p> <p>ネパール(カトマンズ):病院、研究所、医療系大学等へ訪問、水質調査、微生物検査、衛生環境の調査など、フィールドワークを主とした内容、現地医療系学生との交流</p> <p>○看護コース(対象学科:看護師養成系学科)                  アメリカ(ボストン):世界トップレベルの病院、大学研究施設、ホームレスクリニック等へ訪問。                  視野を広げる 研修</p> <p>ネパール(カトマンズ):現地病院やヘルスポストなどへ訪問。住民の健康状態の調査などフィールドワークを主とした内容。現地医療系学生との交流</p> <p>【開催時期】 2022年度冬期、もしくは、2023年度春期(予定)                  ※コロナウイルス感染症の状況により開催次期を決定</p> <p>【募集人数】 各コース各国若干名</p> <p>【費用】 アメリカ32万円、ネパール20万円(目安の金額。為替、航空券代金によって変動あり)</p> <p>【引率者】 神戸常盤大学教員 各コースごとに1~2名</p> <p>【その他】 事前および事後研修への参加が必要(場所:神戸常盤大学)                  ※コロナの影響を鑑み、研修内容が変更になる場合があります。</p> <p>【事前説明会】 渡航が決定すれば説明会を開催予定</p>
--------	--

新しい試み等(事業計画に記載)	
-----------------	--

事業収支	収入	支出	収支	備考
	50,000円	円	50,000円	

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))	

- |  |   |
|--|---|
| ■自己評価基準<br>(対到達目標)<br>4:当初計画を上回って達成<br>3:当初計画を達成<br>2:当初計画をやや下回った<br>1:当初計画を下回った | ■自己評価基準<br>(対継続性)<br>4:本プログラムは継続すべき<br>3:本プログラムは継続しても良い<br>2:本プログラムの継続には改善が必要<br>1:本プログラムは中止すべき |
|--|---|

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	
------------------------	--

【 2022年度 国際交流委員会 事業計画(取組2-2)】

【取組2】達成目標	プログラム数10件以上
【取組2】活動指標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定)

課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進		
達成目標 【取組2-2】	プログラム数10件以上		
課題を解決する 取組概要 【取組2-2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進		
活動指標 【取組2-2】	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定)		
内容 (計画)	<p>世界で最も権威のある「模擬国連世界大会(NMUN)」を、2022年11月に神戸市外国語大学が主催校として実施するにあたり、海外から集まった学生らと交流を図る貴重な機会として生かすため、「模擬国連世界大会演習」科目を2022年度後期に設置し、履修者を募集する。</p> <p>開講期間 8月8日～12月5日(15コマ) 募集人員 20人 開講場所 神戸市外国語大学 参加要件 (1)授業はすべて英語で行われるため、TOEIC800同等以上の英語力があること。 (2)模擬国連世界大会神戸大会(11月23日～27日)への参加を必須とし、受講生は、同大会参加(宿泊)費として1名5万円程度を自己負担すること。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症により、NMUNが中止されることとなった場合は不開講となる可能性がある】</p>		
新しい試み等			
事業収支	収入 0円	支出 円	収支 0円
			備考

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載)			

■自己評価基準  
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準  
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)	
------------------------------------	--

【2022年度 国際交流委員会 事業計画(取組1)】

【取組1】達成目標	各年参加者数500名以上
【取組1】活動指標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定)

課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進			
達成目標【取組1】	各年参加者数500名以上			
課題を解決する取組概要【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施			
活動指標【取組1】	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定)			
内容(計画)	<p>&lt;兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業&gt;          大学連携による国際交流の拠点を、大学キャンパス外の地域社会に形成することで留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。</p> <p>1、外国人留学生の活用と相互理解・共生推進のための事業          ○学生組織構築活動TeamG-navi「ファシリテーション・プロジェクト演習」          ・ファシリテーション力を身につける人材養成講座          【実施】2021年5月～7月(計6回) 【定員】15名 【対象】日本人学生・留学生(N2以上)・社会人          ○大学等との連携による協働事業(加盟校等の教学協働プログラム)          【連携予定】甲南女子大学・兵庫県立大学【実施】通年2～3回 【定員】20～40名 【対象】留学生・日本人学生</p> <p>2、高度外国人材としての留学生向けキャリアサポート          ○英語でのキャリアイベント          留学生のキャリアイベントを開催(公益社団法人 関西経済連合会共催)          【実施】2022年10月～12月 【定員】30～50名 【対象】留学生          ○キャリアカフェ「Nada Global Village (NGV)」          「自分を深める」「視野を広げる」キャリアカフェ          キャリア、ダイバーシティ&amp;インクルージョン、SDGs、文化・価値観・社会情勢、自己探求等をテーマに、          インタラクティブなイベントを実施予定          【実施】年間10回 【定員】各20名 【対象】留学生、日本人学生、社会人</p> <p>3、防災教育「防災セミナー」          兵庫国際交流会館の地域的特性を生かし、防災減災に備えるセミナー          【実施】2022年未定年1～2回 【定員】30～50名 【対象】留学生、日本人学生、社会人</p> <p>4、地域連携プログラム「英語村」          大学生が企画し、中高校生等を対象に英語を通じたコミュニケーションの楽しさや学びを提供。          【実施】2022年7～8月、12月 【定員】各20名 【対象】留学生・日本人学生・地域の小中高校生など</p> <p>5、留学生・国際交流情報の発信事業・支援者間ネットワークの体制整備          大学連携の特徴を活かした情報発信事業を行い、加盟校・関係団体と支援者間ネットワークを構築。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症状況により、実施方法(オンライン・リアル・ハイブリッド)・プログラム内容の変更の可能性有</p>			
新しい試み等(事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	9,625,000円	円	円	

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))	

- |  |   |
|--|---|
| <p>■自己評価基準<br/>(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成<br/>         3:当初計画を達成<br/>         2:当初計画をやや下回った<br/>         1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準<br/>(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき<br/>         3:本プログラムは継続しても良い<br/>         2:本プログラムの継続には改善が必要<br/>         1:本プログラムは中止すべき</p> |
|--|---|

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	
------------------------	--

